人材確保と生産性の向上

地域を支える産業の担い手の確保・育成等

交通の担い手である運転手や整備士、船員や造船等の技術者の高齢化や技能者不足の状況に鑑み、運輸業・観光業等における人材確保・育成に向けて、若年労働者や女性活躍の場に関する関係業界の取組を支援・推進しています。

運輸・観光における女性の活躍促進

セミナーの開催やガイドライン策定などを通じ女性が働きやすい職場環境づくりの普及促進の取組を支援しています。

自動車運転手・自動車整備士

高等学校等を訪問し、運転手・整備士の魅力について PR しています。

将来の自動車整備士を目指してもらうため、「子ども整備士体験」の取組を実施しています。

子ども整備士体験

海事産業の次世代人材育成

小・中学生や工業高校生等を対象とした海事産業見学会、水産系高校生のフェリーでのインターンシップ、船員就職希望者への船員就業フェアなどを開催しています。

海事産業見学会

物流人材育成

将来の「物流業界」を担う人材発掘に繋げるため大学や物流業界と連携し、物流講座や特別課外授業（座学・施設見学・事業者と学生の意見交換会）を行っています。

大学での物流講座

トラック運転者の労働環境整備

「働きやすい職場認証制度」により、運転者への就職を促進するとともに、より働きやすい労働条件・労働環境の実現を図っています。また、トラック運送業における取引の適正化を通じた運転者の労働条件の改善を図るため、「標準的な運賃」制度の普及・促進に取り組んでいます。

認証マーク

人材確保と生産性の向上

生産性向上の支援

新型車両･船舶の開発、導入支援や生産体制の見直し、物流効率化など生産性向上の各種支援を行っています。

生産性向上のための新型車両・船舶の導入

運転手や船員不足対策の一環として、一度に大量の人を運ぶことができる「連節バス」や「自動運転（操縦）技術を活用した車両（船舶）」を導入する際の技術的指導や認定を行っています。

連節バス

自動運転車両

世界初の大型フェリーの
無人運航実証船「それいゆ」

海事産業における生産性向上の支援

造船業・海運業の競争力強化・生産性向上、船員の働き方改革等を目指す「海事産業強化法（令和３年５月公布）」に基づき、共同事業の実施や事業再編、生産体制の見直し、次世代新技術の開発の支援や、内航海運の取引環境改善など、海事産業全体で好循環を生み出すための取組を推進しています。

＜共同での設計・営業・建造＞
大規模ロット対応、新鋭技術の搭載など船主のニーズに対応

LNG 燃料コンテナ船

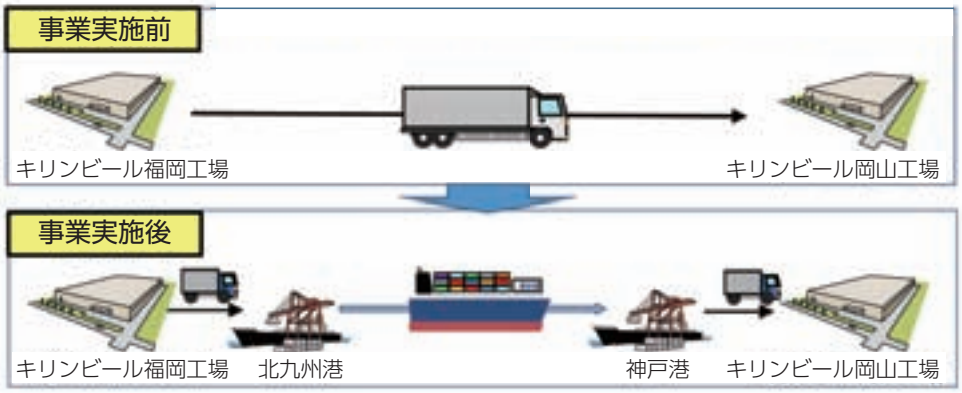
＜生産体制の抜本見直し＞
拠点ごとの役割を明確化し、複数拠点を一体運用

拠点Ａ：ブロック製造　　拠点Ｂ：組立､艤装

物流効率化の取組

物流産業における労働力不足を背景として、輸送や保管、荷捌き、流通加工を事業者間で連携して一体的に行うなど物流分野における省力化を支援しています。

【令和３年度事業例】大麦輸送のモーダルシフト

【事業内容】
大麦の穀物専用ダンプ車両を使用した陸上輸送（距離約500 ㎞）から、20ft 海上コンテナと同サイズの改造専用コンテナを使用したコンテナ船での海上輸送へモーダルシフトを行う

【効　　果】
トラックドライバーの長時間労働の抑制に寄与している